令和８年度　伏木富山港・海王丸財団事業計画書

海王丸パークの令和７年（１～12 月）の年間入込数は 854,300 人となり、前年比 2.5%増加した（20,800 人の増）。これは、令和６年１月１日に発生した能登半島地震の影響により、能登と県内を周遊するツアー等が控えられていた頃から徐々に回復傾向にあるものと思われる。

帆船海王丸の総帆展帆は、昨年度に続き荒天や夏の異常な暑さなど天候に恵まれず、予定していた 10 回のうち６回が中止となったが、海洋教室は予定していた 22 団体を受け入れ、うち宿泊は９団体を受け入れた。

春・夏の大型自主イベントを予定どおり開催するとともに、民間団体等による音楽・フードフェス、バイクラリーイベント、車のイベント等、多彩なイベントが海王丸パークを会場として催された。

新湊マリーナは、令和６年度から専門業務（クレーンによる船の上下架等）と、船舶用の燃料販売を開始しているが、こうした作業を行うために必要な資格等を持つ人員の確保・育成という課題は残るものの、今のところ運営に大きな支障はきたしておらず、今後も安定したサービスの提供に努めてまいりたい。

Ⅰ　海王丸パークの管理運営事業

平成４年オープン。雄大な「立山連峰」と「富山湾」を背景に、日本海側最大級の斜張橋「新湊大橋」（平成 24 年９月開通）と「帆船海王丸」を一望できる県内屈指の観光スポット。射水市ベイエリアの中心として、一層魅力的な施設を目指し、管理運営に努めたい。

(1)　海王丸パークの施設管理

① パーク内のプランターの植栽、芝生管理
② 清掃（園内、パーゴラ展望室、トイレ、石床面）
③ 日本海交流センター展示ホールでの世界の帆船模型展、パネル展示等
④ 「展望広場」の供用
⑤ 「恋人の聖地」記念モニュメント
⑥ 「世界で最も美しい湾クラブ」記念モニュメント
⑦ 「第 35 回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」御製碑

(2)　財団主催イベントの実施（予定）

① 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式　４月 17 日(金)
② 海王丸パークフェスティバル　７月 19 日(日)～20 日(月・祝)
③ ちびっ子天国 in 海王丸パーク　９月 20 日(日)～21 日(月・祝)
④ パワーバレンタインウィーク　２月８日(月)～14 日(日)

(3) 他団体主催イベント（予定）

① 小型豪華客船「アザマラ・パシュート」寄港　４月１日（水）、
４月28日（火）、９月21日（月・祝）
② ワンフェス　５月３（日・祝）～４日（月・祝）
③ モーターパークフェス　５月30日（土）
④ 富山新港花火大会　７月26日（日）
⑤ 富山マラソン　11月１日（日）

Ⅱ　帆船海王丸保存・公開等事業

総帆展帆を10回行うとともに、海事思想の普及活動の一環として、海王丸を活用した保存・公開の事業展開を行い、海・船・港をより理解していただけるよう努める。

１　保存事業

(1) 日常保守点検、船体整備

① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
② 船内清掃、木甲板磨き、真ちゅう磨き
③ マスト、ヤード、セイル等帆装艤装設備の保守、点検、補修及びセイル製作
④ 船体各部の発錆部の補修、船体及び展示マスト・ヤードの塗装
⑤ カッター(６艇)の保守管理

(2) 法定検査等

① 「船舶安全法」に基づく第一種中間検査
② 消防設備・防火対象物点検

(3) 災害防止

① 船内防災センターにおける火災、浸水及び不法侵入者等に備えた24時間集中監視の実施
② 射水市消防署との合同避難訓練（夏季１回）
③ 津波避難訓練（秋季１回）

２　公開事業

(1) 一般公開

公開日	次の日を除く毎日 ・毎週水曜日（水曜日が祝日の場合は翌平日） ・年末年始（12月29日～１月３日） ・船体整備期間 （４月４日～５日、10月28日～11月14日及び２月15日～３月10日）

公開時間	・午前９時30分～午後５時 ※季節により終了時間は変動

【新】帆船海王丸乗船料改定

令和８年２月に 96 歳となった帆船海王丸が今後も「生きた船」として、一般公開、総帆展帆や海洋教室など海事教育を展開するには更なる費用が求められるが、令和８年以降の当財団の収支は相当厳しくなると見込まれ、一層の収入確保を図るため、帆船海王丸乗船料を改定する。

【新】帆船海王丸乗船料キャッシュレス決済の導入

海王丸パーク来場者の利便性の向上を図るため、帆船海王丸の乗船について、キャッシュレス決済を導入する。

(2) 特別公開

①臨時公開予定日（１回）　８月 12 日（水）

②非公開区域の公開予定日（３回）

機関室・セイルロッカー・作業場・食糧貯蔵庫など

12 月 13 日(日)、１月 11 日(月・祝)、２月 14 日(日)

(3) 総帆展帆

・総帆展帆の実施予定日　10回

４月19日(日)、４月26日(日)、５月５日(火・祝)、５月24日(日)、６月７日(日)、６月21日(日)、９月13日(日)、９月20日(日)、10月４日(日)、10月18日(日)

・富山マラソン開催時に特別展帆（縦帆＋満船飾）を実施予定

・縦帆ミニ展帆の実施予定回数　13回

・展帆体験の実施予定回数　　４回

(4) 満船飾

満船飾の実施予定日　５回

５月４日(土・祝)、７月20日(月・祝)、８月11日（火・祝）、11月１日（日）、２月14日（日）

(5) ライトアップ・イルミネーション

日没～２２時　(県・市等からの依頼によるライトアップへの協力)

(6) ボランティアの育成

① 育成ボランティア数、登録者数（令和８年３月１日現在）

男性 548 名　　女性 344 名　　計 892 名（前年同日 852 名）

② 新規ボランティア訓練の実施　　４回開催予定

③ 「ボランティアの集い（表彰式)」の開催　12 月６日（日）予定

④ 既存ボランティアへのフルハーネス訓練

３　錬成等事業

(1) 海洋教室の概要

海王丸での規律正しい団体生活を通じて、児童・生徒に協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図る。

(2) 海洋教室の実施計画

予定参加団体　18団体　約900名

(3) 主な内容

船内探検、結索実習(ロープワーク)、甲板清掃、セイル展帆、マスト登り、カッター訓練、手旗信号、舵輪回し

(4) カッター教室・なごクルーズの開催

イベント時にカッター・セイリング教室、なごクルーズを開催

(5) 「帆船海王丸絵画コンクール 2026」の実施

４　海事広報活動の普及・推進

(1) 「富山県インターンシップ」の受入

(2) 射水市「社会に学ぶ『14 歳の挑戦』(新湊地区)」の受入

(3) 富山高等専門学校学生の受入(海王丸を活用した海事教育)

① 国際ビジネス学科(１年・２年)物流概論Ⅱ・商学概論Ⅱの授業として

② 商船学科（１年航海/機関コース・２年航海コース）海洋実習・運用概論Ⅰの授業として

(4) 富山県立滑川高校生徒の受入（海王丸を活用した海事教育）

海洋科（２年・３年）機関実習として

５　帆船海王丸大規模修繕に向けた体制整備

海王丸建造 100 周年の節目に、海王丸の歴史を次世代に継承し、地域のシンボルとしての誇りと愛着を育み、海王丸建造 100 周年記念事業及び機運醸成に向けた取り組みの積極的かつ円滑な推進を図るため、海王丸大規模修繕プロジェクト実行委員会（仮称）を設立し、必要な事業等を行う。

Ⅲ　富山新港臨海野鳥園（海王バードパーク）の管理運営

平成８年オープン。海王丸パークに隣接し、池・ヨシ原・樹林池などの恵まれた環境に、四季を通じ多くの鳥たちが飛来する野鳥の楽園となっている。近年は来園者数が減少傾向にあるため、更なる魅力発信に努めたい。

(1) 野鳥観察指導員の配置による野鳥解説の実施

日曜日、祝日を中心に、野鳥観察指導員による野鳥の解説や、観察方法のアドバイスを実施。

(2) 探鳥会の開催（５回）

４月５日(日)、11月８日(日)、12月13日(日)、

２月14日(日)、３月21日(日・祝)

(3) 野鳥講演会の開催　3月21日（日・祝）

Ⅳ　新湊マリーナ（海竜マリンパーク）の管理運営

平成13年オープン。水上桟橋、艇置場、大型艇用50ｔクレーン、クラブハウス（管理棟、オーナーズハウス、多目的広場、マリーナ緑地等）を備え、収容可能隻数で日本海側最大規模を誇る。利用者のことを第一に、更なるサービスの向上に努めたい。

(1) マリーナ施設及び同緑地の管理運営

① 入場者利用案内業務

② マリーナ施設、マリーナ緑地の維持管理に関する業務

③ マリーナ艇庫、艇置き場、浮き桟橋、物揚場、給油施設、管理棟、ロッカー、バーベキュー設備の使用の許可に関する業務

④ 施設の利用料金の徴収に関する業務

⑤ 保管艇の保管及び上下架（R⑥から直営）に関する業務（直営化による作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保）

⑥安全管理に関する業務

(2) 施設利用契約及び料金徴収、入出港等の運営管理

令和８年３月１日現在　保管艇数：330艇（前年同日336艇）

(3) 利用促進等事業

① マリーナでの各種ヨット教室や大会への運営協力

② ホームページ・フェイスブック等の更新

③ 海上保安部等関係機関及び漁業関係者との緊密な連絡

④ 販売艇の展示事業（自主事業）

⑤ 給油施設（R⑥から直営）の運営（自主事業）直営化による作業量増に対応した人員体制及び有資格者の確保

Ⅴ　県営渡船の堀岡発着場における運航補助業務の実施

県からの受託事業。堀岡発着場での運航補助を行う嘱託職員（４名）の人事発令及び給与支給等事務を行っている。勤務の割振、勤怠・服務管理を行う富山新港管理局と調整しながら進めてまいりたい。